



河小だより

四日市市立河原田小学校
第14号 2020. 1.20

★3学期が始まりました!★

始業式での子どもたちの姿は、今まで通りの河原田っ子の姿でした。廊下を静かに歩き、静かに待ち、式が始まると、姿勢を正し、静かに話を聴くという姿です。「当たり前のことをバカにせずちゃんとできる」子どもたちの姿です。この姿が、学校だけでなく、家庭においても、地域においても現れるようになってほしいと強く願っています。

始業式では次のことを話しました。

「(前略)さて、こんなときどうしますか?(下のイラストを提示)



日本人は、知り合いでない人に言葉でコミュニケーションをとることが苦手だといわれています。人が困っているとき、そして、悲しんでいるとき、気楽に「大丈夫?」「どうしたの?」「座りますか?」「荷物手伝いましょうか?」の声が出ないというのです。思いやる気持ちを行動に移す前に、言葉にしていくことは大切です。言葉が人と人をつなぎます。言葉でコミュニケーションをとることは大切なのです。今、この日本では、知らない人が声をかけると不審者扱いされたり、変な人として見られたりします。ただ、私が話をした場面では、そんな風に思われることはありません。できる人は、チャレンジしてみましよう。レベルアップは、『思いやりの気持ちを言葉にいきましょう』ということです。

おわりに、このマークを知っていますか(右のイラストを提示)?
知らない人は、先生に聞いてごらん。このマークをつけている人に出会ったら、思いやりの気持ちを言葉にしましょう。相手も、自分も、幸せな気持ちになれるよ」

河原田の子どもたちは総じて心優しく、他者に対して思いやりをもって対応できる子どもたちです。ただ、他者とコミュニケーションをとるのは苦手な子どもが多いような感じがします。行動に移す前に、どのような言葉かけをすればいいのか、子どもたちが持つ良さを表現表出できるような力を育てることも学校の大切な役目だと持っています。



★人権フォーラム 1/14★

南中学校区の小中学生が集まって人権について考える機会、人権フォーラムを持ちました。フォーラムでは、人権作文発表とワークショップに河原田小・日永小・泊山小・南中学校の4校の児童・生徒が取り組みました。人権作文では、各校1名の代表者が人権に関する自分の体験をもとにした作文を発表しました。ワークショップでは、「～これって問題?～」という主題で、人権にかかわるテーマについて、4校の児童・生徒が32のグループに分かれ、話し合われました。テーマは次のことでした。このテーマについて「問題」「問題ではない」「どちらとも言えない」、あなたはどうか考える?ということで話し合いをしました。

「外国の人がゴミを指定された日以外の日に出した!」「授業中に教室をとび出して行く子がいた!」「どのトイレもすいているのに、多目的トイレを使っている人がいた!」これらは、「問題」「問題ではない」「どちらとも言えない」どうですか?という感じです。

それぞれの状況であなたはどのようにその状況を捉えますか?と問われたわけです。捉え方は百人百様でしょう。正解があるわけでもありません。ただ、その状況を見て例えば、「外国の人はいつゴミを出したら良いかわからなかったのではないだろうか」「大きな音や人ごみが苦手であったのではないだろうか」「車椅子を使っていたり、子どものオムツを替えていたり、自分の性別のトイレに行きにくかったりしたのではないだろうか」という風に、相手の立場に立ち、その状況が生じた理由を推測することが大切である、ということを知ってもらいたいという話し合い活動であったように感じました。

話し合いが活発に行われたのは、中学生の代表の人が話しやすい雰囲気をつくりながら進めてくれたからだと思っています。感謝します。4校の児童・生徒が、4月からは同じ中学校のなかまとしてより良い中学校生活を送れることを願っています。



★素敵な作品! 昨年12月20日の「竹灯り点灯式」の様子★

今年度も昨年度に引き続き、12月初めに、延べ20数名の地域の方々をゲストティーチャーに迎え、6年の子どもたちが「竹灯り」づくりに取り組みました。地域の方々が河原田地区内に生い茂る竹を伐採し、灯り用の竹を準備してくださるとともに、授業の中で、子ども達とともに竹灯りを作ってくれました。2年目となった今年度も昨年度同様、子どもたちは目を輝かせながら、慣れないドリルと格闘していました。そして、全員が「竹あかり」を完成させました。その点灯式が、12月20日に河原田地区市民センターで行われました。たくさんのお子どろたちが参加してくれたそうです。それは、竹あかりの明かりが照らす光景は、とても美しかったそうです。常々思うことですが、地域の方々の協力のもと、子ども達と一緒に活動する教育活動が本校には根付いています。教師や学級の仲間との「学び」にはない良さが、地域の方やボランティアの方、農芸高校の高校生との交流活動の中にはあります。市民センター、河原田消防団、農芸高校、興農社、河原田ミカン栽培農家、寿会(老人会)、河原田保育園等との交流活動を継続し、より良い活動に高めていきたいと考えています。

今後とも、ご支援、ご協力、よろしく申し上げます。

